

第 63 回 日本生化学会 近畿支部例会

# 要 旨 集

日時：2016 年 5 月 21 日 (土)

9:10 ~ 18:20

会場：神戸薬科大学 (兵庫県神戸市)

# 進行表・座長一覽

	ききょう記念ホール 5号館 5階	A 会場 4号館 K430	B 会場 4号館 K440	C 会場 4号館 K450	D 会場 4号館 K432	ポスター 会場 6号館 2階	
9:00	9:10~9:15 開会挨拶 例会長: 北川 裕之						
10:00	9:15~9:55 特別講演1 遠藤 玉夫 先生 座長: 北川 裕之 (神戸薬大)	10:05~11:45 一般演題 (口頭発表) <b>A1-A10</b>  座長: 力武 良行 (神戸薬大) 天野 富美夫 (大阪薬大)	10:05~11:45 一般演題 (口頭発表) <b>B1-B10</b>  座長: 朝日 通雄 (大阪医大) 三善 英知 (阪大)	10:05~11:45 一般演題 (口頭発表) <b>C1-C10</b>  座長: 小西 守周 (神戸薬大) 瀬尾 美鈴 (京産大)	10:05~11:45 一般演題 (口頭発表) <b>D1-D10</b>  座長: 長谷川 潤 (神戸薬大) 古川 貴久 (阪大)		
12:00						12:00-13:00 一般演題 (ポスター発表) 奇数: 12:00-12:30 偶数: 12:30-13:00  高校生ポスター発表	
13:00	13:00~13:05 挨拶: 神戸薬科大学 学長 北河 修治	13:05~15:05 一般演題 (口頭発表) <b>A11-A22</b>  座長: 井原 義人 (和歌山県医大) 栗原 達夫 (京大)	13:05~15:05 一般演題 (口頭発表) <b>B11-B22</b>  座長: 増井 良治 (大阪市大) 板野 直樹 (京産大)	13:05~15:05 一般演題 (口頭発表) <b>C11-C22</b>  座長: 亀井 加恵子 (京工繊大) 扇田 久和 (滋賀医大)	13:05~15:05 一般演題 (口頭発表) <b>D12-D23</b>  座長: 今西 未来 (京大) 西澤 幹雄 (立命館大)	12:00-13:00 近畿支部評議員会 6号館 2階小食堂	
14:00	13:05~13:45 特別講演2 門松 健治 先生 座長: 北川 裕之 (神戸薬大)						
15:00	13:45~15:05 私立大学戦略的研究 基盤形成支援事業講演  座長: 北川 裕之 (神戸薬大)						
16:00	15:40~16:20 特別講演3 山下 潤 先生 座長: 江本 憲昭 (神戸薬大)						
17:00	16:20~17:00 特別講演4 山下 俊英 先生 座長: 北川 裕之 (神戸薬大)						
	17:00~17:40 特別講演5 銅島 陽一 先生 座長: 小西 守周 (神戸薬大)						
18:00	17:40~18:20 近畿支部奨励賞受賞記念講演 茶谷 絵理 氏・森戸 大介 氏 座長: 支部長 三善 英知 (阪大)					15:05-15:30 一般演題 (ポスター発表) 高校生ポスター発表	
						17:00 ポスター撤去 17:30 ポスター投票締切	
	18:20-20:00					懇親会	会場: 6号館3階 食堂

演題番号・発表時間・発表者 早見表

時間		A会場	B会場	C会場	D会場
午前の部(10:05-11:45)					
10:05-10:15	演題番号	A01	B01	C01	D01
	発表者	山本幸司	志田美春	和田千菜津	宮田信吾
10:15-10:25	演題番号	A02	B02	C02	D02
	発表者	松山千容	大橋和佳	松島章子	上野明希子
10:25-10:35	演題番号	A03	B03	C03	D03
	発表者	奥中真白	山田敦子	中村圭佑	久保竣
10:35-10:45	演題番号	A04	B04	C04	D04
	発表者	中代里美	平岡秀一	Tomomi Izumikawa	山口賀章
10:45-10:55	演題番号	A05	B05	C05	D05
	発表者	齊藤洋平	Imam Manggalya Adhikara	金川基	織田麻衣
10:55-11:05	演題番号	A06	B06	C06	D06
	発表者	和田諭可子	上田優衣	中山喜明	川内健史
11:05-11:15	演題番号	A07	B07	C07	D07
	発表者	深谷莉紗子	藤好杏奈	櫛谷晃帆	鈴木篤史
11:15-11:25	演題番号	A08	B08	C08	D08
	発表者	濱岡裕穂	内藤裕子	宇山侑希	島亜衣
11:25-11:35	演題番号	A09	B09	C09	D09
	発表者	山根銀平	亀村和生	西野弘大	森田寛之
11:35-11:45	演題番号	A10	B10	C10	D10
	発表者	赤松佑香	石村恵美	木内啓貴	平松貴人
午後の部(13:05-15:05)					
13:05-13:15	演題番号	A11	B11	C11	D12
	発表者	田中一也	渡邊寛	溝口泰司	北島佐紀人
13:15-13:25	演題番号	A12	B12	C12	D13
	発表者	横山文秋	東出実歩	中尾宥介	山内優子
13:25-13:35	演題番号	A13	B13	C13	D14
	発表者	Yicheng Wang	盛山哲嗣	清水昭男	今村大樹
13:35-13:45	演題番号	A14	B14	C14	D15
	発表者	Gun-Hee Lee	櫻本翔子	Masahiro Tsuji	奥山哲矢
13:45-13:55	演題番号	A15	B15	C15	D16
	発表者	船橋輝記	國澤卓磨	Agian Jeffilano Barinda	小澤佳
13:55-14:05	演題番号	A16	B16	C16	D17
	発表者	加藤洋平	川鍋陽	中川勉	Lili Quan
14:05-14:15	演題番号	A17	B17	C17	D18
	発表者	前田知美	浅田恵佑	Donytra Arby Wardhana	江川広紀
14:15-14:25	演題番号	A18	B18	C18	D19
	発表者	谷口麻衣	山口雅也	Tran Thanh Men	長尾勇希
14:25-14:35	演題番号	A19	B19	C19	D20
	発表者	上田佳奈	高尾和也	中尾昌平	西崎大祐
14:35-14:45	演題番号	A20	B20	C20	D21
	発表者	山本円	藤野友輔	林大輝	松井有史
14:45-14:55	演題番号	A21	B21	C21	D22
	発表者	陳炳碩	川井真好	太田紘也	篠田昂樹
14:55-15:05	演題番号	A22	B22	C22	D23
	発表者	田島達也	山本晃毅	藤岡広大	片野裕太

# プログラム

ききょう記念ホール（5号館5階）

9:10-9:15 開会挨拶 例会長：北川 裕之（神戸薬科大学）

9:15-9:55

**S1** 特別講演1

座長：北川 裕之（神戸薬科大学）

糖鎖合成機構とその破綻による先天性筋ジストロフィー

遠藤 玉夫（東京都健康長寿医療センター研究所）

13:00-13:05

ご挨拶

北河 修治（神戸薬科大学 学長）

13:05-13:45

**S2** 特別講演2

座長：北川 裕之（神戸薬科大学）

硫酸化糖鎖によるオートファジーと軸索再生の制御

○門松 健治, 坂元 一真, 尾崎 智也, Yuanhao Gong  
(名古屋大学大学院医学系研究科)

13:45-15:05

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業講演

北川 裕之 (神戸薬科大学 学生化学研究室)  
江本 憲昭 (神戸薬科大学 臨床薬学研究室)  
宮田 興子 (神戸薬科大学 薬品化学研究室)  
田中 将史, 向 高弘 (神戸薬科大学 薬品物理化学研究室)

15:40-16:20

**S3** 特別講演3

座長：江本 憲昭（神戸薬科大学）

多能性幹細胞の心血管分化機構と再生医療応用

山下 潤（京都大学 iPS 細胞研究所 増殖分化機構研究部門）

16:20-17:00

**S4** 特別講演4

座長：北川 裕之（神戸薬科大学）

中枢神経回路の障害と修復を制御する生体システム

山下 俊英（大阪大学大学院 医学系研究科 分子神経科学）

17:00-17:40

**S5** 特別講演5

座長：小西 守周（神戸薬科大学）

$\alpha$ -Klotho の分子機能解析 — 蛋白質間相互作用における糖鎖の新たな機能 —

鍋島 陽一（先端医療センター研究所）

17:40-18:20

平成28年度近畿支部奨励賞授賞式および受賞記念講演

贈呈者および座長：支部長 三善 英知（大阪大学）

線維前駆中間体の観察によるアミロイド線維の伝播およびその発現機構の解明

茶谷 絵理（神戸大学大学院理学研究科）

モヤモヤ病の鍵因子ミステリンの同定と解析

森戸 大介（京都産業大学 総合生命科学部）

## 一般演題

★が付いた演題は優秀発表賞候補者演題（学部生と大学院生が筆頭著者の演題）です

### A 会場（4号館3階 講義室K430）

#### 一般演題（口頭発表）午前の部：10:05～11:45

座長：力武 良行（神戸薬科大学），天野 富美夫（大阪薬科大学）

10:05-10:15

**A01** IFN- $\gamma$ -producing B cells induce the formation of gastric lymphoid follicles after *Helicobacter suis* infection

○山本幸司，東健  
神戸大・院医・消化器

10:15-10:25

★**A02** スキルス胃癌細胞に対する特異抗体が認識する抗原 gp200 の精製について

○松山千容<sup>1</sup>，大谷水景<sup>1</sup>，玉木理衣<sup>1,2</sup>，住吉大地<sup>1</sup>，森愛弥<sup>1</sup>，川上智也<sup>1</sup>，小池敦資<sup>1</sup>，  
藤森功<sup>1</sup>，柳原五吉<sup>1,3</sup>，天野富美夫<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪薬大・生体防御学，<sup>2</sup>神戸医療センター中央市民病院，<sup>3</sup>国立がん研究センター東病院

10:25-10:35

★**A03** ヒトスキルス胃癌細胞株、HSC-39 細胞由来の 5-フルオロウラシル及びシスプラチン耐性変異株の樹立について

○奥中真白<sup>1</sup>，玉木理衣<sup>1,2</sup>，小池敦資<sup>1</sup>，森重雄太<sup>1</sup>，藤森功<sup>1</sup>，柳原五吉<sup>1,3</sup>，天野富美夫<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪薬大・生体防御学，<sup>2</sup>神戸医療センター中央市民病院，<sup>3</sup>国立がん研究センター東病院

10:35-10:45

★**A04** ヒトスキルス胃癌細胞株、HSC-39 細胞を用いた、コラーゲンが薬剤耐性に及ぼす影響

○中代里美<sup>1</sup>，玉木理衣<sup>2</sup>，柳原五吉<sup>3</sup>，小池敦資<sup>1</sup>，天野富美夫<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪薬大・生体防御，<sup>2</sup>神戸医療センター中央市民病院，<sup>3</sup>国立がん研究センター・東病院

10:45-10:55

**A05** 抗がん剤抵抗性に及ぼす Hsp105 $\alpha$  の核局在化の関与

○齊藤洋平，山根鉄平，島田雅史，加藤圭穂，久家貴寿，中山祐治  
京都薬大・生化学

10:55-11:05

★**A06** ヒト肺がん由来 A549 細胞を用いた耐性度の異なる CDDP 耐性細胞の樹立とその特性

○和田諭可子<sup>1</sup>，堀部紗世<sup>1</sup>，中原諒子<sup>1</sup>，平沼朋子<sup>1</sup>，河内正二<sup>2</sup>，力武良行<sup>1</sup>

<sup>1</sup>神薬大・医療薬学，<sup>2</sup>神薬大・臨床教育センター

11:05-11:15

★**A07** 血清除去による Mac-2 binding protein の発現誘導とその生物学的機能の解析

○深谷莉紗子，前川友裕，高松真二，鎌田佳宏，三善英知  
大阪大学大学院・医学系研究科・機能診断科学

11:15-11:25

★A08 RSK による EphA2 のリン酸化とグリオブラストーマ細胞の増殖制御

○濱岡裕穂<sup>1</sup>, 根岸学<sup>1,2</sup>, 加藤裕教<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>京都大・院薬・神経機能制御学, <sup>2</sup>京都大・院生命・生体システム学

11:25-11:35

★A09 VEGF-A/NRP1 シグナルの阻害はがん細胞の増殖と転移を抑制する

○山根銀平<sup>1</sup>, 吉田亜佑美<sup>2</sup>, 清水昭男<sup>3</sup>, 門之園哲哉<sup>4</sup>, 近藤科江<sup>4</sup>, Michael Klagsbrun<sup>5</sup>, 瀬尾美鈴<sup>1,5</sup>

<sup>1</sup>京産大・総合生命・生命システム, <sup>2</sup>国循・分子病態, <sup>3</sup>滋賀医大・分子病態, <sup>4</sup>東工大・生命理工学, <sup>5</sup>Children's Hospital Boston, Harvard Medical School

11:35-11:45

★A10 脂質型 CA19-9 の膜輸送に関わる新規キャリア候補タンパク質 CABIN の機能解析

○赤松佑香, 浅澤瞳美, 峰平朋美, 澤登温子, 小泉百花, 魚住尚史, 高松真二, 鎌田佳宏, 三善英知

大阪大学大学院医学系研究科 機能診断科学講座

**一般演題（口頭発表）午後部：13:05 ～15:05**

---

座長：井原 義人（和歌山県立医科大学），栗原 達夫（京都大学）

13:05-13:15

★A11 エクソソームの細胞内取り込み能とレシピエント細胞のカベオリン-1発現との関連

○田中一也<sup>1</sup>, 堀部紗世<sup>1</sup>, 清田実希<sup>1</sup>, 松尾杏奈<sup>1</sup>, 河内正二<sup>2</sup>, 力武良行<sup>1</sup>

<sup>1</sup>神薬大・医療薬学, <sup>2</sup>神薬大・臨床教育センター

13:15-13:25

★A12 低温菌 *Shewanella livingstonensis* Ac10 の菌体外膜小胞の特性とエイコサペンタエン酸が小胞形成に与える影響の解析

○横山文秋<sup>1</sup>, 川本純<sup>1</sup>, 今井友也<sup>2</sup>, 小川拓哉<sup>1</sup>, 栗原達夫<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京都大学化学研究所, <sup>2</sup>京都大学生存圏研究所

13:25-13:35

★A13 Free glycosylphosphatidylinositols are abnormally accumulated on the cell surface of GPI transamidase defective mammalian cells

○Yicheng Wang, Tetsuya Hirata, Yusuke Maeda, Yoshiko Murakami, Taroh Kinoshita

WPI iFReC and Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University, Osaka, Japan

13:35-13:45

★A14 PGAP6 is involved in shedding of GPI-anchored protein, CRIPTO, which regulates Nodal signaling.

○Gun-Hee Lee<sup>1</sup>, Morihisa Fujita<sup>2</sup>, Yoshiko Murakami<sup>1</sup>, Noriyuki Kanzawa<sup>1</sup>, Yusuke Maeda<sup>1</sup>, Taroh Kinoshita<sup>1</sup>

<sup>1</sup>WPI Immunology Frontier Research Center and Research Institute for Microbial Diseases, Osaka University, <sup>2</sup>School of Biotechnology, Jiangnan University

13:45-13:55

**A15 「観るだけでわかるタンパク質間相互作用解析法」の開発と繊毛内タンパク質輸送複合体 IFT-B の構築様式の解明**

○加藤洋平, 寺田将也, 中山和久  
京大・院薬・生体情報

13:55-14:05

**★A16 KIF17 と IFT 複合体の相互作用様式の解明と繊毛内輸送における役割**

○船橋輝記, 加藤洋平, 中山和久  
京大・院薬・生体情報

14:05-14:15

**★A17 Rab11a は小腸において apical 膜タンパク質の局在を制御する**

○前田知美<sup>1,2</sup>, 傍嶋智明<sup>1,2</sup>, 吉村信一郎<sup>1</sup>, 國井政孝<sup>1</sup>, 森脇健太<sup>1</sup>, 北野真郷<sup>1,2</sup>, 岩城彩乃<sup>1,2</sup>, 三善英知<sup>2</sup>, 原田彰宏<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>阪大・院医・細胞生物, <sup>2</sup>阪大・院医・機能診断科学

14:15-14:25

**A18 プロテオグリカンの糖鎖修飾の転写を調節する新規ゴルジ体ストレス応答経路の解析**

○谷口麻衣, 小森亮太, 奥田知穂, 田中隆也, 中川幸大, 濱田響, 佐々木桂奈江, 若林貞夫, 吉田秀郎  
兵庫県大・院・生命理学

14:25-14:35

**★A19 細胞外マトリクス mindin の分泌経路における C-mannosyl 化の作用**

○上田佳奈<sup>1</sup>, 井内陽子<sup>2</sup>, 持田沙織<sup>3</sup>, 村田顕優<sup>3</sup>, 松井仁淑<sup>2</sup>, 南方志帆<sup>2</sup>, 田尻道子<sup>4</sup>, 和田芳直<sup>4</sup>, 井原義人<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>和歌山県医大・医・学部6年, <sup>2</sup>和歌山県医大・医・生化, <sup>3</sup>和歌山県医大・医・大学院準備課程, <sup>4</sup>大阪府立母子医療セ

14:35-14:45

**★A20 カルレティキュリンはヒト絨毛細胞株 (HTR8/SVneo) において細胞浸潤能に関与する**

○山本円<sup>1</sup>, 池崎みどり<sup>2</sup>, 岩橋尚幸<sup>1</sup>, 南條佐輝子<sup>1</sup>, 井篁一彦<sup>1</sup>, 井原義人<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>和歌山県医大・医・産婦, <sup>2</sup>和歌山県医大・医・生化

14:45-14:55

**★A21 メダカを用いた小胞体ストレス由来のアポトーシスの解析、及びアポトーシス可視化メダカの作製**

○陳炳碩, 石川時郎, 岡田徹也, 森和俊  
京大・院理・生物物理

14:55-15:05

**★A22 遺伝学および化学的手法を用いた線虫精細胞の活性化機構の解析**

○田島達也<sup>1</sup>, 中村匠吾<sup>1</sup>, 太田拳斗<sup>1</sup>, 荒崎彩音<sup>1</sup>, 中西加純<sup>1</sup>, 小川風太<sup>2</sup>, 表雅章<sup>2</sup>, 西村仁<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>摂南大・院理工・生命科学, <sup>2</sup>摂南大・院薬・医療薬学

B 会場（4号館4階 講義室K440）

一般演題（口頭発表）午前の部：10:05～11:45

座長：朝日 通雄（大阪医科大学），三善 英知（大阪大学）

10:05-10:15

★B01 高硫酸化コンドロイチン硫酸による神経細胞の極性形成制御機構の解析

○志田美春，三上雅久，北川裕之  
神戸薬大・生化

10:15-10:25

★B02 OTX2 蛋白質の PV 陽性細胞近傍への局在を決定するコンドロイチン硫酸の構造は何か？

○大橋和佳，野村綾香，加藤由佳，宮田真路，山本和樹，平岡秀一，北川裕之  
神戸薬大・生化

10:25-10:35

★B03 コンドロイチン硫酸鎖の発現量調節を介した骨格筋分化促進メカニズムの解析

○山田敦子，松浦伸明，今村香奈実，吉川泰樹，三上雅久，北川裕之  
神戸薬大・生化

10:35-10:45

B04 糖ヌクレオチド輸送体 Slc35d1 は腸管ホメオスタシスに必要である

○平岡秀一<sup>1</sup>，杉野太亮<sup>1</sup>，三上知佳<sup>1</sup>，西山美紀<sup>1</sup>，古関明彦<sup>2</sup>，北川裕之<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>神戸薬科大・生化学，<sup>2</sup>理研IMS・免疫器官形成

10:45-10:55

★B05 Chondroitinase ABC Prevented Chondroitin Sulfate

*N*-Acetylgalactosaminyl-transferase 2 (ChGn-2) Effect on Macrophage Oxidized-Low Density Lipoprotein Uptake in Atherosclerosis Progression

○Imam Manggalya Adhikara<sup>1</sup>，Keiko Yagi<sup>2</sup>，Kyoko Shinohara<sup>2</sup>，Hirotohi Fujita<sup>2</sup>，Naoki Yokoyama<sup>2</sup>，Yoko Suzuki<sup>1</sup>，Koji Ikeda<sup>2</sup>，Ken-ichi Hirata<sup>1</sup>，and Noriaki Emoto<sup>2</sup>

<sup>1</sup>Division of Cardiovascular Medicine, Department of Internal Medicine, Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan; <sup>2</sup>Clinical Pharmacy, Kobe Pharmaceutical University, Kobe, Japan

10:55-11:05

★B06 炎症性腸疾患の発症に関わるコアフコースの役割について

○上田優衣<sup>1</sup>，藤井宏修<sup>1</sup>，新崎信一郎<sup>2</sup>，飯島英樹<sup>2</sup>，鎌田佳宏<sup>1</sup>，辻井正彦<sup>2</sup>，竹原徹郎<sup>2</sup>，三善英知<sup>1</sup>

大阪大学院医学系研究科，<sup>1</sup>機能診断科学講座，<sup>2</sup>消化器内科学講座

11:05-11:15

★B07 糖転移酵素Fut8の肝細胞脂質代謝に及ぼす影響について

○藤好杏奈，鎌田佳宏，山本晃子，戎谷友佑，藤井宏修，高松真二，三善英知  
大阪大学大学院医学系研究科 機能診断科学

11:15-11:25

**B08 脳における*N*-グリコシルノイラミン酸の発現は生体にとって負に働く**

○内藤裕子<sup>1,4</sup>, Leela Davies<sup>1</sup>, 竹松弘<sup>1,5</sup>, Hsun-Hua Chou<sup>1</sup>, Pam Tangvoranuntakul<sup>1</sup>, Charles Heyser<sup>2</sup>, Aaron Carlin<sup>1</sup>, Andrea Verhagen<sup>1</sup>, Pascal Gagneux<sup>1,3</sup>, Ajit Varki<sup>1,3</sup>

<sup>1</sup>カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD)・医, <sup>2</sup>Neuroscience Behavioral Testing Core, UCSD, <sup>3</sup>Glycobiology Research and Training Center, UCSD, <sup>4</sup>神薬大・生化, <sup>5</sup>京大・院医

11:25-11:35

**B09 グリコシル化 EWS の化学量論的解析**

○亀村和生

長浜バイオ大・院バイオサイエンス・細胞制御

11:35-11:45

**B10 大腸癌細胞株LoVo細胞においてAMPKの*O*-GlcNAc修飾は腫瘍増殖を促進させる**

○石村恵美<sup>1,2</sup>, 中川孝俊<sup>1</sup>, 朝日通雄<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪医科大学医学部薬理学, <sup>2</sup>愛仁会尼崎だいもつ病院

**一般演題 (口頭発表) 午後の部 : 13:05 ~15:05**

---

座長 : 増井 良治 (大阪市立大学), 板野 直樹 (京都産業大学)

13:05-13:15

**★B11 リゾスフィンゴ糖脂質サイコシンは、分裂溝における PIP<sub>2</sub> の産生を抑制することでエンドマイトーシスを誘導する**

○渡邊寛<sup>1</sup>, 小林俊秀<sup>2</sup>, 岡昌吾<sup>1</sup>, 竹松弘<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京大・院医, <sup>2</sup>理化学研究所

13:15-13:25

**★B12 ヘキソサミン合成経路による上皮-間葉転換制御機構**

○東出実歩, 望月信利, チャンミー シーラウト, 板野直樹

京産大・総合生命

13:25-13:35

**B13 異なる細胞内局在を示す2つのトランスアルドラーゼが糖代謝全体に影響を及ぼす**

○盛山哲嗣<sup>1</sup>, 田中秀<sup>2</sup>, 中山泰宗<sup>3</sup>, 福本昌宏<sup>2</sup>, 辻村賢二<sup>2</sup>, 山田幸司<sup>1</sup>, 馬場健史<sup>3</sup>, 米田悦啓<sup>4,5</sup>, 福崎英一郎<sup>3</sup>, 岡正啓<sup>1,5</sup>

<sup>1</sup>(国研) 医薬健康研・細胞核輸送 D, <sup>2</sup>阪大院・生命機能・細胞内移動学, <sup>3</sup>阪大院・工学・生物工学・生物資源工学領域, <sup>4</sup>(国研) 医薬健康研, <sup>5</sup>阪大院・薬学・NIBIOHN

13:35-13:45

**★B14 細胞質型ホスホリパーゼA<sub>2</sub>の分解機構の解明**

○櫻本翔子, 辻田彩夏, 天野富美夫, 藤森功

大阪薬科大・院薬・生体防御

13:45-13:55

★B15 メタノール資化酵母および昆虫細胞におけるヒト Lysoplasmalogenase の発現

○國澤卓磨, 河合優太, 竹中重雄, 小森雅之  
阪府大・生環・獣医・分生

13:55-14:05

B16 電位依存性ホスファターゼVSPとPTENに共通する膜との相互作用部位の重要性

○川鍋陽, 米澤智子, 岡村康司  
阪大・院医・統合生理

14:05-14:15

★B17 造血型プロスタグランジンD合成酵素と補酵素・基質の分子認識機構と反応機構の解明

○浅田恵佑<sup>1</sup>, 大野木友大<sup>1</sup>, 丸野孝浩<sup>2</sup>, 小林祐次<sup>2</sup>, 有竹浩介<sup>3</sup>, 裏出良博<sup>3</sup>, 日高雄二<sup>1</sup>, 島本茂<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>近大・院理工, <sup>2</sup>阪大・院工, <sup>3</sup>筑波大・国際統合睡眠医科学研究機構

14:15-14:25

B18 分子進化解析を利用した B 群レンサ球菌のシアル酸分解酵素が病原性に果たす役割の解明

○山口雅也, 広瀬雄二郎, 中田匡宣, 後藤花奈, 住友倫子, 川端重忠  
阪大・院歯・口腔細菌

14:25-14:35

★B19 高度好熱菌 *Thermus thermophilus* HB8由来の新奇なDNA結合タンパク質 (TkaP) の構造・機能的解析

○高尾和也<sup>1</sup>, 飯尾洋太<sup>2</sup>, 井上真男<sup>2</sup>, 藤井裕己<sup>3</sup>, 倉光成紀<sup>2</sup>, 増井良治<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪市大・院理, <sup>2</sup>阪大・院理, <sup>3</sup>阪大・院生命機能

14:35-14:45

★B20 高度好熱菌Protein kinase TpkDの構造安定性に対するリガンドの効果

○藤野友輔<sup>1</sup>, 宮川武朗<sup>2</sup>, 井上真男<sup>3</sup>, 藤井裕己<sup>2</sup>, 倉光成紀<sup>3</sup>, 増井良治<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪市大・院理, <sup>2</sup>阪大・院生命機能, <sup>3</sup>阪大・院理

14:45-14:55

B21 *Staphylococcus aureus* の温度刺激による抵抗性の変化

○川井真好<sup>1</sup>, 通山由美<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>姫路獨協大・薬・衛生・微生物, <sup>2</sup>姫路獨協大・薬・生化

14:55-15:05

★B22 メッシュ状金属薄膜を用いたエアロゾルの分離・検出と生化学的分析

○山本晃毅<sup>1</sup>, 白井恵美<sup>1</sup>, 井上有香<sup>1</sup>, Ernest Wandera<sup>2</sup>, 一瀬休生<sup>2</sup>, 神波誠治<sup>3</sup>, 近藤孝志<sup>3</sup>, 長谷川慎<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>長浜バイオ大学・院・バイオサイエンス, <sup>2</sup>長崎大学熱帯医学研究所ケニア拠点, <sup>3</sup>(株)村田製作所

C 会場（4号館5階 講義室K450）

一般演題（口頭発表） 午前の部：10:05～11:45

座長：小西 守周（神戸薬科大学），瀬尾 美鈴（京都産業大学）

10:05-10:15

★C01 カルマン症候群原因遺伝子産物Anosmin-1はNetrin-1と相互作用し嗅神経の伸長を促進する

○和田千菜津<sup>1</sup>，清水昭男<sup>1,2</sup>，浅野弘嗣<sup>1</sup>，石井泰雄<sup>1</sup>，木田朱音<sup>1</sup>，安木実悠<sup>1</sup>，徳村脩人<sup>1</sup>，小野勝彦<sup>3</sup>，村上志津子<sup>4</sup>，佐藤直子<sup>5</sup>，瀬尾美鈴<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京産大・総合生命・生命システム，<sup>2</sup>滋賀医大・分子病態生化学，<sup>3</sup>京都府立医・神経発生生物，<sup>4</sup>順天堂大医・神経生物，<sup>5</sup>東大医・小児

10:15-10:25

★C02 Anosmin-1の血管内皮細胞に対する生理活性の検証とそのシグナル伝達経路の解析

○松島章子<sup>1</sup>，清水昭男<sup>2,3</sup>，浅野弘嗣<sup>2</sup>，近藤真菜美<sup>1</sup>，瀬尾美鈴<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>京産大・院・生命科学，<sup>2</sup>京産大・総合生命・生命システム，<sup>3</sup>滋賀医大・分子病態生化学

10:25-10:35

★C03 Hippoシグナル伝達経路におけるMASK1およびMASK2の機能解析

○中村圭佑，出口幸大，西良太郎，堀利行

立命館大・生命・生医

10:35-10:45

C04 常染色体劣性骨格異形成症の原因遺伝子である Glypican-6 の hedgehog シグナル伝達における制御機構の解析

○Tomomi Izumikawa, Mariana Capurro, Wen Shi, and Jorge Filmus

Biological Sciences, Sunnybrook Research Institute, and Department of Medical Biophysics, University of Toronto

10:45-10:55

C05 新規糖鎖ユニット“リピトールリン酸”の同定と筋ジストロフィーへの関与

○金川基<sup>1</sup>，小林千浩<sup>1</sup>，田尻道子<sup>2</sup>，萬谷博<sup>3</sup>，久我敦<sup>1</sup>，山口芳樹<sup>4</sup>，和田芳直<sup>2</sup>，遠藤玉夫<sup>3</sup>，戸田達史<sup>1</sup>

<sup>1</sup>神戸大・院医・分子脳/神経内科，<sup>2</sup>大阪母子セ・代謝，<sup>3</sup>東京健康長寿医療セ・老化機構，<sup>4</sup>理研グローバル・糖鎖構造生物

10:55-11:05

C06 FGF21は胸腺細胞の成熟化を促進する

○中山喜明<sup>1</sup>，増田有紀<sup>1</sup>，伊藤信行<sup>2</sup>，小西守周<sup>1</sup>

<sup>1</sup>神薬大・薬・微生物，<sup>2</sup>京大・院医・MIC

11:05-11:15

★C07 筋肉の増加減退に関わるRhoAの機能解析と相互作用分子の探索

○櫛谷晃帆<sup>1</sup>，上田修司<sup>1</sup>，加藤良毅<sup>1</sup>，桐村悠佑<sup>1</sup>，石政碧<sup>1</sup>，吉野健一<sup>2,3</sup>，竹内敦子<sup>4</sup>，山之上稔<sup>1</sup>，白井康仁<sup>1</sup>

<sup>1</sup>神戸大・院農・動物資源，<sup>2</sup>神戸大・バイオシグナル，<sup>3</sup>神戸大・院医，<sup>4</sup>神戸薬大

11:15-11:25

★C08 心臓特異的ミオシン軽鎖キナーゼ (cMLCK) 賦活剤の開発

○宇山侑希<sup>1</sup>, 塚本蔵<sup>1</sup>, 菅裕明<sup>2</sup>, 高島成二<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪大学・生命機能研究科, <sup>2</sup>東京大学・理学系研究科

11:25-11:35

★C09 新規好中球活性化ペプチド、マイトクリプタイド-2の構造活性相関の検討

○西野弘大, 丸谷飛之, 堤光己, 服部竜弥, 木曾良明, 向井秀仁

長浜バイオ大学大学院 バイオサイエンス研究科 ペプチド科学研究室

11:35-11:45

C10 表面プラズモン共鳴法を用いた薬剤の薬効メカニズム解明及び毒性予測評価に関する研究

○木内啓貴<sup>1,2</sup>, 有本博一<sup>3</sup>, 西口賢三<sup>1</sup>, 松山恵吾<sup>1</sup>, 岡雅子<sup>1</sup>, 卷秀樹<sup>1</sup>, 北川裕之<sup>2</sup>, 上森浩<sup>1</sup>

<sup>1</sup>塩野義製薬株式会社, <sup>2</sup>神戸薬科大・院薬・生化, <sup>3</sup>東北大・院生命科学・分子生命科学

一般演題 (口頭発表) 午後の部 : 13:05 ~15:05

---

座長 : 亀井 加恵子 (京都工芸繊維大学), 扇田 久和 (滋賀医科大学)

13:05-13:15

★C11 乳酸菌(*Pediococcus acidilactici* R037)は免疫寛容樹状細胞を誘導し動脈硬化を抑制する

○溝口泰司, 笠原和之, 山下智也, 佐々木直人, 江本拓央, 松本卓也, 林友鴻, 吉田尚史, 平田健一

神戸大学医学部循環器内科学分野

13:15-13:25

★C12 低酸素は血管内皮細胞のAxin-1発現を誘導し、Wnt/ $\beta$ -cateninシグナルを抑制することで肺微小血管の傷害を増悪させる

○中尾宥介, 池田宏二, 八木敬子, 江本憲昭

神薬大・院薬・臨床薬学

13:25-13:35

C13 Dipeptidyl peptidase IIIによるアンジオテンシンII分解の生化学的解析と高血圧マウスモデルにおける降圧作用の検討

○清水昭男<sup>1</sup>, Xiaoling Pang<sup>1</sup>, 栗田宗一<sup>1</sup>, 竹内圭介<sup>1</sup>, 石田哲生<sup>2</sup>, 扇田久和<sup>1</sup>

<sup>1</sup>滋賀医大 生化分子生物 分子病態, <sup>2</sup>琉球大学 理 海洋自然科学 化

13:35-13:45

★C14 Angiogenic Adipokine Neuregulin-4 Ameliorates Adipocyte Dysfunction by Regulating Adipose Tissue Angiogenesis

○Masahiro Tsuji<sup>1</sup>, Dhite Bayu Nugroho<sup>1,2</sup>, Koji Ikeda<sup>1</sup>, Ken-Ichi Hirata<sup>2</sup>, Noriaki Emoto<sup>1</sup>

<sup>1</sup>Kobe Pharmaceutical University・Clinical Pharmacy, <sup>2</sup>Kobe University Graduate School of Medicine・CV medicine

13:45-13:55

★C15 Vascular senescence-messaging secretome disrupts metabolic function of adipocytes; A novel mechanism in metabolic disorders associated with aging

○Agian Jeffilano Barinda<sup>1,2</sup>, Koji Ikeda<sup>1</sup>, Ken-Ichi Hirata<sup>2</sup>, Noriaki Emoto<sup>1</sup>

<sup>1</sup>Kobe Pharmaceutical University · Clinical Pharmacy,

<sup>2</sup>Kobe University Graduate School of Medicine · CV medicine

13:55-14:05

C16 エイコサペンタエン酸 (EPA) が血清中性脂肪を低下させる分子メカニズムの解明: Carbohydrate response element-binding protein (ChREBP) の分解機構の解明

○中川勉<sup>1,2</sup>, 崎山晴彦<sup>3</sup>, 山本和宏<sup>2</sup>, 藤原範子<sup>3</sup>, 鈴木敬一郎<sup>3</sup>, 平井みどり<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>神大・院医・薬物動態学, <sup>2</sup>神大病院・薬, <sup>3</sup>兵医大・生化

14:05-14:15

★C17 Fam13a regulates lipolysis by modulating ATGL expression in mature adipocytes to preserve metabolic homeostasis

○Donytra Arby Wardhana<sup>1,2</sup>, Koji Ikeda<sup>1</sup>, Ken-Ichi Hirata<sup>2</sup>, Noriaki Emoto<sup>1</sup>

<sup>1</sup>Kobe Pharmaceutical University · Clinical Pharmacy,

<sup>2</sup>Kobe University Graduate School of Medicine · CV medicine

14:15-14:25

★C18 A *Drosophila* model for screening anti-obesity agents

○Tran Thanh Men<sup>1</sup>, Masamitsu Yamaguchi<sup>2</sup>, and Kaeko Kamei<sup>1</sup>

<sup>1</sup>Dept. Biomol. Eng., <sup>2</sup>Dept. Applied Biol., Kyoto Inst. Technol.

14:25-14:35

★C19 膵β細胞モデル MIN6 におけるセレノプロテイン P 発現の意義

○中尾昌平, 三田雄一郎, 野口範子, 齋藤芳郎

同志社大学・院・生命医・システム生命科学

14:35-14:45

★C20 ビタミンEによる糖尿病性腎症改善機構の解明

○林大輝<sup>1</sup>, 八木敬子<sup>2</sup>, 上田修司<sup>1</sup>, 山之上稔<sup>1</sup>, 江本憲昭<sup>2</sup>, 齋藤尚亮<sup>3</sup>, 白井康仁<sup>1</sup>

<sup>1</sup>神戸大・院農・動物資源, <sup>2</sup>神戸薬大・臨床薬学, <sup>3</sup>神戸大・バイオシグナル

14:45-14:55

C21 分泌性因子neudesinの遺伝子欠損マウスでは白色脂肪の褐色化が亢進した

○太田紘也<sup>1,2</sup>, 齋藤優太<sup>1</sup>, 中山喜明<sup>1</sup>, 増田有紀<sup>1</sup>, 木村郁夫<sup>3</sup>, 伊藤信行<sup>4</sup>,  
小西守周<sup>1</sup>

<sup>1</sup>神戸薬大・微生物化学, <sup>2</sup>名大・環医研, <sup>3</sup>東京農工大院・農・応用生命,

<sup>4</sup>京大院・医・メディカルイノベーションセンター

14:55-15:05

★C22 不飽和脂肪酸負荷より誘導されるFgf21の脂質代謝調節機構の解析

○藤岡広大<sup>1</sup>, 松家京介<sup>1</sup>, 伊藤信行<sup>2</sup>, 中山喜明<sup>1</sup>, 小西守周<sup>1</sup>

<sup>1</sup>神薬大・薬・微生, <sup>2</sup>京大・院医・MIC

D 会場 (4号館3階 講義室K432)

一般演題 (口頭発表) 午前の部: 10:05 ~11:45

座長: 長谷川 潤 (神戸薬科大学), 古川 貴久 (大阪大学)

10:05-10:15

**D01** ストレスによる脳白質オリゴデンドロサイト機能変化の分子機序

○宮田信吾<sup>1</sup>, 清水尚子<sup>1</sup>, 田中貴士<sup>1</sup>, 遠山正彌<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>近大・東医・分子脳科学, <sup>2</sup>大阪府立病院機構

10:15-10:25

★**D02** 網膜視細胞の成熟における転写因子Mef2dの機能と視細胞変性

○上野明希子, 大森義裕, 北村民樹, 茶屋太郎, 古川貴久  
大阪大学 蛋白質研究所 分子発生学研究室

10:25-10:35

★**D03** Prdm13による網膜のアマクリン細胞サブタイプ分化の制御と視覚応答感度調節

○久保峻, 杉田祐子, 小塚孝司, 古川貴久  
大阪大学・蛋白質研究所・分子発生学研究室

10:35-10:45

**D04** ラット視交叉上核における時計遺伝子概日振動の *in vivo* リアルタイム計測

○山口賀章<sup>1,2</sup>, 岡田和樹<sup>1</sup>, 水野貴暢<sup>1</sup>, 程肇<sup>3</sup>, 重吉康史<sup>4</sup>, 小林正樹<sup>5</sup>, 岡村均<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>京都大・院薬・システムバイオ, <sup>2</sup>科学技術振興機構, <sup>3</sup>金沢大・理工・自然システム,  
<sup>4</sup>近畿大・医・解剖, <sup>5</sup>東北工業大・院工・電子工学

10:45-10:55

★**D05** アポロートルTRPA1の機能解析

○織田麻衣, 齊藤修  
長浜バイオ大・院・バイオサイエンス

10:55-11:05

**D06** クラスリン非依存性エンドサイトーシス経路による神経成熟の制御機構

鹿内弥磨<sup>1</sup>, 鍋島陽一<sup>2</sup>, 柚崎通介<sup>1</sup>, 川内健史<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>慶応大・医・生理, <sup>2</sup>先端医療センター研究所・医薬品開発研究グループ

11:05-11:15

**D07** 神経突起伸長における細胞膜ダイナミクスによる細胞骨格制御機構

○鈴木篤史<sup>1,2</sup>, 長谷川潤<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>神戸薬大・環境衛生化学, <sup>2</sup>筑波大・医学医療・生化

11:15-11:25

**D08** 脊髄性筋萎縮症 (SMA) のヒト神経細胞モデル作製と表現型の解析

○島亜衣<sup>1</sup>, 森田寛之<sup>2</sup>, 西尾久英<sup>1</sup>, 通山由美<sup>2</sup>,  
<sup>1</sup>神大・院医・疫学, <sup>2</sup>姫路獨協・薬・生化

11:25-11:35

**D09** KIF 20A ( Kinesin family member 20A ) の分化と細胞分裂への影響

○森田寛之, 有馬太陽, 佐々木彪曜, 松本隆太郎, 田畑裕幸, 通山由美  
姫路獨協・薬学・生化

11:35-11:45

★D10 新規アミロイド構造プローブとしてのヨウ素染色の有用性評価  
及び染色メカニズムの解析

○平松貴人<sup>1</sup>, Ha Seongmin<sup>1</sup>, 増田裕輝<sup>1</sup>, 安田充<sup>2</sup>, 尾崎幸洋<sup>2</sup>, 茶谷絵理<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>神戸大・院理・化, <sup>2</sup>関西学院大・院理工

★D11 ポスター発表のみの演題

脂質存在下における血清アミロイドAの酵素消化とそれに及ぼす脂質組成の影響

○中村友紀, 高瀬ひろか, 田中将史, 向高弘  
神戸薬大・物化

**一般演題（口頭発表）午後部：13:05～15:05**

---

座長：今西 未来（京都大学），西澤 幹雄（立命館大学）

13:05-13:15

D12 ミドリサングの乳液のトランスクリプトームとプロテオーム解析

○北島佐紀人<sup>1</sup>, 三浦謙治<sup>2</sup>, 青木航<sup>3,4</sup>, 大和勝幸<sup>5</sup>, 平良東紀<sup>6</sup>, 村上隆太<sup>1</sup>, 油屋駿介<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>京工織大・応用生物, <sup>2</sup>筑波大・生命環境, <sup>3</sup>京都大・農,  
<sup>4</sup>京都バイオ計測センター, <sup>5</sup>近畿大・生物理工, <sup>6</sup>琉球大・農

13:15-13:25

★D13 オウヒの初代培養肝細胞における一酸化窒素誘導に対する効果

○山内優子<sup>1</sup>, 奥山哲矢<sup>1</sup>, 池谷幸信<sup>2</sup>, 西澤幹雄<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>立命館大・生命・医化学, <sup>2</sup>立命館大・薬・生薬

13:25-13:35

★D14 フェリチンドメインを持つ新規な植物タンパク質の機能解析

○今村大樹<sup>1</sup>, 飯伏純平<sup>1</sup>, 池永誠<sup>2</sup>, 橘洋一<sup>2</sup>, 安藤信幸<sup>2</sup>, 大藪泰<sup>2</sup>, 廣岡青央<sup>2</sup>, 椎名隆<sup>3</sup>,  
石崎陽子<sup>3</sup>, 北島佐紀人<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>京工織大院・応用生物学, <sup>2</sup>京都市産技研, <sup>3</sup>京都府大・環境情報科学

13:35-13:45

D15 ポウフウから単離された成分の分子構造と一酸化窒素産生誘導の抑制活性の相関

○奥山哲矢<sup>1</sup>, 下倉敏裕<sup>1</sup>, 神野拓也<sup>1,2</sup>, 池谷幸信<sup>2</sup>, 西澤幹雄<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>立命館大・生命・医化学, <sup>2</sup>立命館大・薬・生薬

13:45-13:55

★D16 潰瘍性大腸炎モデルマウスに対する青黛の効果とその有効成分の探索

○小澤佳<sup>1</sup>, 乾里帆<sup>1</sup>, 山内優子<sup>1</sup>, 高坂和芳<sup>1</sup>, 奥山哲矢<sup>1</sup>, 池谷幸信<sup>2</sup>, 西澤幹雄<sup>1</sup>, 田中秀和<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>立命館大・院生命科学・生医, <sup>2</sup>立命館大・薬・薬

13:55-14:05

★D17 Interaction of potential hepatotoxic ingredients of Traditional Chinese Medicine with liver drug transporters OATP1B1 and MDR1

○Lili Quan<sup>1</sup>, Zijie Song<sup>2</sup>, Yueqing Zhou<sup>2</sup>, Ryuichi Ohgaki<sup>1</sup>, Shushi Nagamori<sup>1</sup>, Xin He<sup>2</sup>, Yoshikatsu Kanai<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪大・院医・生体システム薬理学, <sup>2</sup>天津中医薬大・院中薬・薬理

14:05-14:15

★D18 Toxin-Antitoxinの相互作用阻害剤のスクリーニングシステムの構築

○江川広紀<sup>1</sup>, 山口良弘<sup>2</sup>, 波多野和樹<sup>3</sup>, 五十嵐雅之<sup>3</sup>, 内海龍太郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup>近畿大・院農・バイオ, <sup>2</sup>大阪市大・複合先端研, <sup>3</sup>微化研

14:15-14:25

★D19 新規ヒスチジinkinase阻害剤waldiomycinの細菌細胞内での作用機構

○長尾勇希<sup>1</sup>, 村井春香<sup>1</sup>, 清水莉子<sup>1</sup>, 植田修平<sup>1</sup>, 木下英司<sup>2</sup>, 五十嵐雅之<sup>3</sup>, 江口陽子<sup>1,4</sup>,  
内海龍太郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup>近畿大・院農・バイオ, <sup>2</sup>広島大, <sup>3</sup>微化研, <sup>4</sup>近畿大・生物理工

14:25-14:35

★D20 5,10,15,20-テトラフェニル-21H,23H-ポルフィン塩化鉄(III), ヨードシルベンゼン, エタノール反応溶液中に生成する酸素中心エタノールラジカル

○西崎大祐, 岩橋秀夫

和医大・院医・生体分子解析学

14:35-14:45

★D21  $\alpha$ -リノレン酸,  $\gamma$ -リノレン酸およびそれらの混合溶液と鉄イオンとの反応によるラジカル生成の比較

○松井有史<sup>1,2</sup>, 岩橋秀夫<sup>1</sup>

<sup>1</sup>和医大・医学研究科・生体分子解析学, <sup>2</sup>和歌山国際厚生学院

14:45-14:55

★D22 RNA結合タンパク質PUM-HDの認識塩基拡張

○篠田昂樹, 今西未来, 二木史朗

京大・化研

14:55-15:05

★D23 MMLV逆転写酵素の無細胞タンパク質合成系の構築とマイクロアレイへの応用

○片野裕太<sup>1</sup>, 久好哲郎<sup>1</sup>, 久世郁美<sup>1</sup>, 岡野啓志<sup>1</sup>, 伊東昌章<sup>2</sup>, 西垣功一<sup>3</sup>, 滝田禎亮<sup>1</sup>,  
保川清<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京大院農, <sup>2</sup>沖縄高専, <sup>3</sup>産総研

D24 ポスター発表のみの演題

医薬品創製を指向した新規ヘテロ環化合物群の合成

○上田昌史, 伊藤勇太, 杉田翔一, 武田紀彦, 宮田興子

神戸薬大・薬・薬品化学

# 第63回 日本生化学会 近畿支部例会

日時 2016年5月21日(土) 9:10 ~ 20:00

場所 神戸薬科大学 (ききょう記念ホール・4号館・6号館)

例会長 北川 裕之 (神戸薬科大学)

## テーマ 「応用を指向した生化学研究」



### 特別講演

共催企画

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「疾患糖鎖生物学に基づく革新的治療薬の開発」

\*講演・発表時間は予定です。最新の情報はHPでご確認下さい。

- 9:15 ~ 9:55 東京都健康長寿医療センター研究所・副所長 遠藤玉夫 先生  
「糖鎖合成機構とその破綻による先天性筋ジストロフィー」
- 13:05 ~ 13:45 名古屋大学大学院医学系研究科 分子生物学・教授 門松健治 先生  
「硫酸化糖鎖による神経軸索再生制御」
- 13:45 ~ 15:05 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 平成24年度採択課題「疾患糖鎖生物学に基づく革新的治療薬の開発」成果報告

### シンポジウム

- 15:40 ~ 16:20 京都大学 iPS 細胞研究所 増殖分化機構研究部門・教授 山下 潤 先生  
「多能性幹細胞の心血管分化機構と再生医療応用」
- 16:20 ~ 17:00 大阪大学大学院医学系研究科 分子神経科学・教授 山下俊英 先生  
「中枢神経回路の障害と修復を制御する生体システム」
- 17:00 ~ 17:40 先端医療センター研究所・所長 鍋島陽一 先生  
「Klotho によって紡がれた生命の糸を解きほぐす」

一般講演 10:05 ~ 11:50, 13:05 ~ 15:05

ポスター発表 12:00 ~ 13:00, 15:05 ~ 15:30

高校生ポスター発表 12:00 ~ 13:00, 15:05 ~ 15:30

近畿支部奨励賞受賞講演 17:40 ~ 18:20 (2名)

発表申込/要旨締切 4月16日(土)  
詳細はHPをご参照下さい

参加申込/登録締切 5月7日(土)  
当日参加も可能です

参加費：無料

懇親会費：4,000円 (学生無料)



事務局 神戸薬科大学 生化学研究室 (事務担当：灘中里美)

〒658-8558 兵庫県神戸市東灘区本山北町 4-19-1 TEL: 078-441-7570 FAX: 078-441-7571  
e-mail: biochem@kobepharma-u.ac.jp

HP アドレス <http://www.kobepharma-u.ac.jp/biochem/jbsk2016/index.html>